

平成21年度CSI委託事業報告交流会成果報告
(領域2プロジェクト：XooNIpsを基盤とした
新しいリポジトリシステムへの取組)

オープンソースを中核とした コミュニティの発展と リポジトリ普及活動

2010.06.22

慶應義塾大学メディアセンター本部

五十嵐健一

コミュニティのひろがり

～最初に、まとめとして～

- Linuxシステム上だけではなく、Windowsシステム上でも利用可能な環境の準備、差して起動するだけで利用可能なUSBの用意、各種マニュアルやパンフレットの整備などシステム的な利用の敷居を下げることでより多様な形式での機関リポジトリ構築や利用を開拓できた
- ワークショップの講師、マニュアル整備ともに直接開発を手掛ける理化学研究所や慶應だけではなく、元々は一利用機関であった連携機関やワークショップ参加機関からの参加を募って協同で行うことができた。それにより、ワークショップ参加者へ身近な話として聞いてもらえたと思う
- 利用機関を中心に要望をとりまとめて、開発へ反映するという、開発元を巻き込んだオープンソースソフトウェアを中核とするコミュニティの実感
- 機関リポジトリ未構築である機関の方々にワークショップに参加していただき、アンケート結果などより、好評いただけたと実感。構築につながれば(コンテンツを公開したい、大学ランキングのアンケートに機関リポジトリがあった、システム構築をどうしたらよいかわからない、といった意見が多く聞かれた)



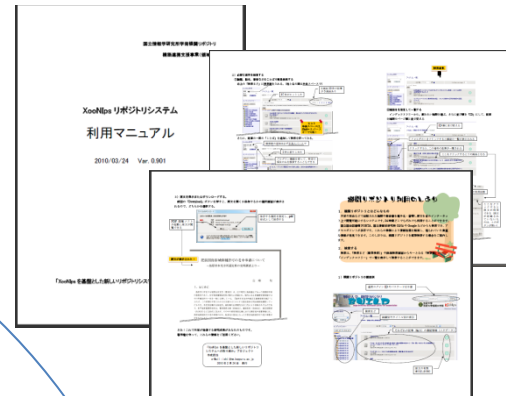
多様性のある参加型コミュニティとしてのひろがりを実感できた



XooNips XooNIPS 研究会



XooNips Library
モジュールの
整備・公開



構築・利用のための
豊富なマニュアル
の作成・公開

国産OSS・ 開発元を中心 とした コミュニティ の構築・発展

OSS=オープンソースシステム



Windows®

各種システム上での
構築と運用

地域連携・教員に
よる授業での活用

実践的ワーク
ショップの開催



XooNIps Libraryモジュールの整備・公開

- 理化学研究所によるXooNIps開発計画への参画と、その計画に合わせたLibraryモジュールの改修
- 利用機関からの機能要望とりまとめを委託期間を通して実施し、Libraryモジュール改修開発作業として委託開発を行った
- 成果は、以下のURIにおいて一般公開。
<http://sourceforge.jp/projects/xoonips-library/releases/>

構築・利用のための豊富な マニュアルの作成・公開

- 機関リポジトリの構築マニュアルを昨年度から引き続き整備を進めた
- 今年度は、初期データの一括登録方法など、運用開始時に有用となる利用マニュアルの整備を実施
- マニュアルの作成は、連携機関やワークショップ参加機関からなるコミュニティを中心に実施
- XooNIps研究会のサイトを通してマニュアルの整備や各種情報提供を行っている。
<http://nijc.brain.riken.jp/xoonips/index.php?Special>

各種システム上での構築と運用

- サーバ環境としてLinuxシステムで動作することはもちろん可能
- 容易に評価できる環境して、Windowsシステム上での動作も可能に調整。システム公開から、JAIROからのハーベストまでの検証を実施
- より容易に評価できるUSBメモリ環境からの動作可能。ワークショップにて一部カスタマイズ実習など

地域連携・教員による授業での活用

- 連携機関である別府大学に於いて、インターネット上の情報の組織化としてリポジトリシステムを用いたメタデータの作成を授業で実施
- 連携機関である別府大学に於いて、地域の学協会の論文をサンプリングし、「BUNGO」サーバとして構築・公開
<http://bud.beppu-u.ac.jp/>

実践的ワークショップの開催

- e-scienceの研究者であり、XooNIpsの開発元である理化学研究所のチームを交えての実習形式でのワークショップを実施(平成21年度中2回)
研究者によるデータベース構築という視点やOSS開発元としての話を直接聞くことができる機会として必ず講師に入っていた
- 「XooNIps Windows版構築のための実践的インストール・トレーニング」
(10月29日 於 活水女子大学)
windowsシステム上で機関リポジトリを構築する実習形式でのワークショップ。PCでの構築実習とマニュアルの配布を実施
- 「MyPCでUSBからXooNIpsを動かし、科研費報告書を登録する」
(1月22日 於 近畿大学)
USBメモリ上に構築した評価環境を用いて、構築無しで利用できる環境を用いてのカスタマイズ実習。
- ワークショップで利用したドキュメントやプログラムは、XooNIps研究会のサイトにて公開を実施。マニュアルは、ワークショップ参加メンバーにより継続して更新されている

コミュニティのひろがり

～最後に、展望として～

- マニュアルやワークショップの効果
ワークショップに参加されていた青森県立保健大学で機関リポジトリA-plus(アプラス)が公開されました！
- より多方面への広がり
美術館・博物館などMLAの担当者と機関リポジトリについて懇談
- XooNIps研究会を中心とした普及活動
利用機関によるマニュアル整備や公開、別府大学の石井先生による講演会での機関リポジトリ普及活動など（XooNIpsだけにとどまらない活動も）



今後もより多様性のある参加型コミュニティとしてのひろがりを目指す